

世界人権宣言 67 周年記念東京集会

敗戦・被爆 70 年のいま これからの 世界と日本を考える

敗戦・被爆 70 年を迎えた私たちは、これからの私たちの生きる社会をどのように創りあげていかなければならないのでしょうか。誰もが戦争や差別のない国際社会の実現にむけて協働して努力していくことを人類共通の課題として明確にした「世界人権宣言」の採択から 67 年。しかしながら、いまなお世界では、民族対立や宗教紛争をはじめ、女性や子どもたちを含めて多くの人たちが犠牲になり、難民問題は深刻な国際問題にもなっています。

私たちが日々暮らすこの日本においても、敗戦の戦禍から経済復興を成し遂げ、バブル経済を経験するなど、物質的には「豊か」になったのかもしれませんが、しかし、生活保護世帯の増大や子どもの貧困の問題、「無縁社会」ともいわれる人と人とのつながりが希薄になり、孤独死が社会問題ともなっています。

しかも、今日の反人権主義、国権主義の政治が推しすすめられているなかで、ヘイトスピーチのような差別排外主義が公然と登場する時代にもなっています。

こうした時代状況にあって、人権や平和の確立にむけて、わたしたちは、これからの世界やいまを生きるこの日本社会とどうつながっていくべきなのかを考えたいと思います。

日 時：2015 年 12 月 8 日（火）13 時 30 分～15 時 45 分

場 所：日本教育会館ホール ■東京都千代田区一ツ橋 2-6-2 ■

●地下鉄都営新宿線・東京メトロ半蔵門線神保町駅（A1 出口）下車徒歩 3 分

●東京メトロ東西線竹橋駅（北の丸公園側出口）下車徒歩 5 分

講 演：内山 節 さん（哲学者）

報 告：「人種差別撤廃施策推進法」をめぐる取り組み

有田 芳生さん（参議院議員）

主 催：世界人権宣言中央実行委員会 ■電話：03-6280-3360 ■

後 援：反差別国際運動（IMADR）

内山 節

1950年 東京世田谷区生まれ

東京大学大学院人文社会系研究科・文学部・兼任講師／東京大学農学部・兼任講師

立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科講師／三重大学生物資源学部・兼任講師

NPO法人・森づくりフォーラム代表理事

著書

『内山節著作集』（全15巻／農山漁村文化協会）

『いのちの場所』岩波書店（2015）／『半市場経済』角川書店（2015）

『哲学者 内山節の世界』新評論（2014）／『新・幸福論』新潮選書（2013）

『ローカリズム原論』農文協（2013）／『文明の災禍』新潮新書（2011）

『自然の奥の神々』宝島社（2010）／『共同体の基礎理論』農文協（2010）

『清浄なる精神』信濃毎日新聞（2009）／『怯えの時代』新潮選書（2009）

『日本人はなぜキツネにだまされなくなったのか』講談社現代新書（2007）

『戦争という仕事』信濃毎日新聞社（2006）

『<創造的である>ということ』上巻「農の営みから」農文協（2006）

『<創造的である>ということ』下巻「地域の作法から」農文協（2006）

『<里>という思想』新潮社（2005）／『里の在処』新潮社（2001）

『自由論』岩波書店（1998）／『市場経済を組み替える』<共著書>農文協（1999）

『哲学の冒険』（1999）「平凡社ライブラリー」

『ローカルな思想を創る』<共著書>農文協（1998）／『貨幣の思想史』新潮社（1997）

『思想としての労働』<共著書>農文協（1997）／『子どもたちの時間』岩波書店（1996）

『森の旅』（1996）日本経済評論社／『森にかよう道』（1994）新潮社

『山里の釣りから』（1995）岩波書店「同世代ライブラリー」

『時間についての十二章』（1993）岩波書店／『やませみの鳴く谷』（1992）新潮社

『戦後思想の旅から』（1992）有斐閣／『山里紀行』（1990）日本経済評論社

『続・哲学の冒険』（1990）毎日新聞社

『自然・労働・協同社会の理論』（1989）農文協

『<森林社会学>宣言』（1989）有斐閣<編著書>

『情景のなかの労働』（1988）有斐閣

『自然と人間の哲学』（1988）岩波書店／『自然と労働』（1986）農文協

『哲学の冒険』（1985）毎日新聞社／『フランスへのエッセー』（1983）三一書房

『労働過程論ノート』増補版（1976）田畑書店

『労働の哲学』（1982）田畑書店／『戦後日本の労働過程』（1982）三一書房

『存在からの哲学』（1980）毎日新聞社／『山里の釣りから』（1980）日本経済評論社

『労働過程論ノート』（1976）田畑書店

